

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

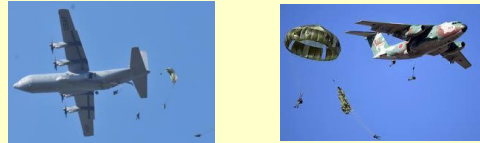
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信
- 重要施設等防護（基地警備等）



令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 神奈川県内における訓練について

本演習において神奈川県内で実施する訓練は、

- ① 統合通信訓練
- ② 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊の機動展開訓練、高射部隊等の機動展開訓練）
- ③ 統合電磁波作戦訓練
- ④ 重要施設等防護（共同/協同基地等警備訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。
なお、その他訓練を予定しておりますが調整中のため、整い次第追加する予定です。

神奈川県内で実施を検討している訓練内容

② 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

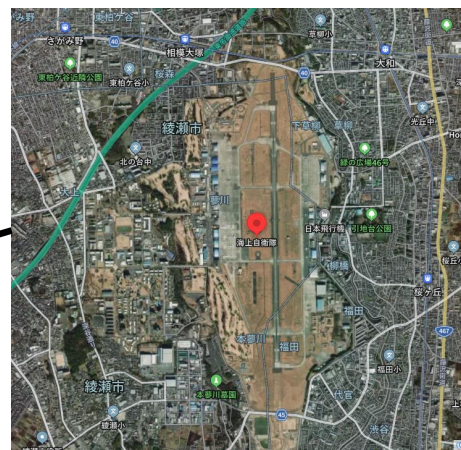
航空自衛隊の高射部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、厚木航空基地において機動展開訓練を実施します。

なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

【参加部隊】航空自衛隊：中部航空方面隊 中部高射群 第3高射隊及び第12高射隊 人員約30名、車両約15両

訓練予定場所



空自：高射部隊

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

神奈川県内で実施を計画している訓練内容

③ 統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖周辺で実施される共同統合対艦戦闘等に連携して行われます。

本訓練のため、海上自衛隊厚木航空基地所属の航空機（哨戒機「P-1」）が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘等に参加します。

なお、本訓練では電波の収集のみであり、実際に電波を発射する予定はありません。

【期 間】 令和8年10月22日（木）～10月29日（木）

【参加部隊】 海上自衛隊厚木航空基地所属 哨戒機「P-1」×1機 約10名

訓練予定場所

（神奈川県）



展開する主要装備品



海上自衛隊厚木航空基地所属 哨戒機（P-1）

①海上自衛隊厚木航空基地から四国沖周辺へ飛行

②四国沖周辺で訓練を実施し、海上自衛隊厚木航空基地へ帰投

※期間中、1日1回程度の運航を計画しています。

なお、訓練内容の詳細については、調整中であり変更の可能性があります。